

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	(独)交通安全環境研究所運営費交付金 (審査勘定)	事業開始年度	平成13年度	作成責任者		
担当部局庁	自動車交通局	担当課室	技術安全部技術企画課	課長 和迺 健二		
会計区分	自動車安全特別会計 (自動車検査登録勘定)	上位政策	自動車の安全性を高める			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法第46条	関係する計 画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	交通安全環境研究所に自動車等の審査及びリコールに係る技術的検証を行わせるための業務の運営に必要な経費。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	道路運送車両法第75条の4の規定に基づく自動車及びその装置の型式指定の際に、交通安全環境研究所に保安基準に適合するかどうかの審査を行わせている。また、同法の自動車のリコール制度において、同研究所に改善措置の内容が適切であるかどうかの技術的な検証を行わせている。					
実施状況		19年度	20年度	21年度		
	車両審査件数	1,392型式	1,787型式	2,631型式		
	装置型式審査型式数	509型式	346型式	378型式		
	不合格(基準不適合自動車等)、又は設計変更等をさせた件数	19件	9件	4件		
	平成16年に発覚した、リコールに係る不正行為に関連し、当該メーカーに対して、厳格な審査を実施した件数	20件	16件	4件		
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	909	876	862	822	834
	執行額	909	876	862		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	交通安全環境研究所においては、人件費に国と同一の俸給表を用いており、また、契約については一般競争入札によることを原則としている。さらに、収入支出管理を厳正に行っており、支出先及び用途の把握は確実になされている。				
	見直しの余地	これまで、契約監視委員会を設置し、契約状況の点検・見直しを行う等の取組を行ってきており、今後も引き続き適切な予算執行の確保を図ることとしている。				
予算監視の効率化	【現状維持】 物品購入等に対しても一般競争入札を基本とすべき。					
補記	【予算科目】 01 独立行政法人交通安全環境研究所運営費 95 独立行政法人交通安全環境研究所運営費交付金に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) 95054-305-16 独立行政法人交通安全環境研究所審査勘定運営費交付金 862百万円 862百万円					

国土交通省
862百万円

国の行政に必要な自動車等の型式指定審査業務、リコールに係る技術的検証業務等を交通安全環境研究所に行わせる。



【 交 付 】

A. (独)交通安全環境研究所
862百万円

自動車等の型式指定審査業務、リコールに係る技術的検証業務等の実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(独)交通安全環境研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	物品購入費等	513			
人件費	職員人件費	349			
計		862	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)